

「子どものいのちを最優先に守る」ために 児童虐待防止対策強化へ 補正予算案が県議会で可決

みなさま、こんにちは。立憲民主党・千葉県議会議員 松戸市選出の安藤じゅん子です。令和となって最初の定例県議会が、6月5日から28日まで開かれました。

今回の議会では、本年1月に野田市で起きた児童虐待死亡事件を踏まえて、児童相談所の体制強化、関係機関との連携強化、広報・啓発の強化に関する補正予算が組まれました。また、児童虐待防止対策に関する意見書が可決されました。上記補正予算案を含む16の議案が審議され、可決・同意されました。



安藤じゅん子は「認知症対策」「児童相談所の取り組み」「迷惑防止条例」を担当

6月11日に会派を代表して、矢崎堅太郎議員が代表質問に登壇しました。代表質問に際し、安藤じゅん子は「認知症対策」「児童相談所の虐待対応の取り組み」「迷惑防止条例」を担当しました。

※県議会の本会議では、質問の種類が2つあります。1つは議員個人が行政に対して質問を行う一般質問です。登壇できる機会は1年に1回です。もうひとつは、会派として、行政の取り組みに対して質問を行う代表質問です。代表質問は、質問者がすべての質問を考えるわけではなく、会派のなかで分担し、それぞれが担当項目に関して調査をし、質問を作成します。

認知症対策について

高齢化社会が進む現在、「認知症」対策の充実が求められています。高齢者本人の日常生活に影響を与えるとともに、ご本人やご家族の声を受け止めた施策が必要です。

代表質問では、認知症初期集中支援チームの設置や取り組みの状況と、地域格差が生じないようにどのような取り組みをしているのかを質問しました。行政側の答弁を受け、県の市町村への支援を強化するように要望しました。

行政側答弁(要約) 認知症初期集中支援チームは、介護サービスに結びついていない認知症と疑われる人等を対象に、早期の診断等を目的に市町村が設置するもの。4月現在、全54市町村に合計81のチームが設置済み。相談を受けた市町村は、医療・介護の専門職から構成されるチームを派遣し、初期の支援を行い、在宅生活が継続できるように取り組んでいる。

千葉県では、市町村への調査等によりチームの取り組み状況や課題を把握し、サポート医の養成、チーム員の支援技術向上、認知症疾患医療センター等との連携強化などに取り組んでいます。今年度はチーム員の資質向上を目的とした研修を実施する予定。

児童相談所の虐待対応の取り組みについて

相次ぐ児童虐待死亡事件を受けて、国会で児童福祉法等が改正され、体罰禁止の明記、児童相談所の体制強化、児童福祉士の増員、切れ目ない支援などが盛り込まれています。千葉県では、野田市の事件の当該県でもあり、児童虐待防止緊急対策が5月8日に公表されました。その緊急対策のなかのひとつに、児童相談所職員の虐待事案への対応力の向上と適切なケースマネジメントがあり、具体的な取り組みについて質問しました。

再質問では、DV通報の義務の条例化や通報先・保護先の更なる拡充などを提案するとともに、DV被害者への対応・体制整備を要望しました。

行政側答弁(要約) 児童相談所職員の増員により、若手職員が増加している。現在、経年年数が短い職員の能力向上と、職員の育成指導や業務の進行管理を行う中間管理職のマネジメント能力の向上が課題となっている。

虐待事案の対応強化策として、「子ども虐待対応マニュアル」の徹底と、高圧的な保護者への対応を想定したロールプレイを導入するなど、より実践的な研修カリキュラムへの見直しを行う。また、中央、市川、柏児童相談所に配置したグループリーダーに対し研修を実施し、適切なケースマネジメントの確保を図る。

千葉県迷惑防止条例について

各県では暴力・暴言・容引き・ストーカー・盗撮等の行為を禁じる迷惑防止条例が制定されています。今年4月に秋田県の学校内で男性講師が女性教師のスカートの中を盗撮する事案がありました。しかし学校は「公共の場」には当たらず不起訴となりました。そこで、千葉県では「公共の場」に「学校」や「職場」が含まれるのか質問しました。

答弁を受けて、早期の条例改正を強く要望しました。

行政側答弁(要約) 「公共の場」とは、不特定多数の者が自由に利用、出入りできる道路や公園、駅、商業施設などをいうものと解されており、学校や企業等の敷地内は「公共の場所」に含まれないものと考えられる。現在の条例では公共の場以外での適用は難しく、条例改正の検討を進めている。

子どもや女性など 社会的弱者を守る支援策を県へ要望

健康福祉常任委員会



千葉県議会では、各議員は「総務防災」「総合企画企業」「健康福祉」「環境生活警察」「商工労働」「農林水産」「県土整備」「文教」の8つの常任委員会のいずれかひとつに所属します。安藤じゅん子は4月から健康福祉常任委員会に所属しています。

6月21日に開催された健康福祉常任委員会では、県民の健康や安全にかかる項目について、当局と質疑いたしました。そのいくつかを抜粋してご紹介いたします。

(紹介しきれない質問については、安藤じゅん子公式ホームページに掲載いたします)

保育園の安全状況を確認、支援の徹底を要望

小さな子どもたちの命を預かる保育園。その安全管理や状況の把握は徹底されていなければなりません。

委員会では、直近3年間で起きた保育園の事故の発生状況や防止対策について質問しました。

また、滋賀県大津市で起きた交通事故を受けて、保育園のお散歩コースの情報を把握し、安全対策を支援するべきとの提案もいたしました。

当局回答(要約) 平成28年～30年で起きた千葉県内の保育園の重篤な事故は、転倒や遊具からの落下による骨折事故がほとんどである。事故が起きた場合は状況報告だけでなく、原因の分析と改善策も報告し、自治体内で共有するとともに、国でもホームページ等で情報を公表している。

千葉県では、保育従事者に対して、保健衛生・安全対策研修を実施している。

大津市の交通事故を受けて、注意喚起の通知を出し、安全対策は協議・検討しているところ。



千葉県議会9月定例県議会にて一般質問に登壇いたします

9月議会(9月13日～10月10日)に先立ち、9月7日(土)に議会報告会を開催する予定です。開催場所、時間等が決まりましたら、ホームページ等でお知らせいたします。

9月議会では、議員年金や議員の海外視察、議会棟の喫煙所撤去など、立憲民主党会派として意見集約を進めています。また、10月～11月は会派を代表して決算委員会に出席いたします。

安藤じゅん子 プロフィール

安藤じゅん子(立憲民主党千葉県議会議員・松戸市選出)
1976年生まれ、いすみ幼稚園、上本郷第二小学校、第六中学校、共立女子学園高校、早稲田大学社会科学部卒業。出版社勤務を経て2010年より松戸市議会議員。2015年より千葉県議会議員(現在2期目)。健康福祉常任委員会委員、決算委員会委員。

皆様のご意見、ご要望をお聞かせください

ホームページ、ツイッター、facebookページなどで受け付けています。
お気軽にご相談ください。

ホームページ
<https://andojunko.net/>



ツイッター
<https://twitter.com/andojunko>

Facebookページ
「安藤淳子と少子化・子育てを考える会」
<https://www.facebook.com/andojunko0529/>

FAX: 050-3488-7708
Eメール: contact@andojunko.net